

2020/7/1

## 米国の作付面積・四半期在庫報告＝米農務省

## ■作付面積

	2020年	予想平均	予想レンジ	3月意向面積	2019年
大豆	83.825	84.716	83.500～85.600	83.510	76.100
トウモロコシ	92.006	95.207	93.000～97.100	96.990	89.700

単位：百万エーカー

## ■四半期在庫

	2020/6/1	予想平均	予想レンジ	2020/3/1	2019./6/1
大豆	1385.989	1392	1275～1490	2253	1783
トウモロコシ	5223.664	4951	4795～5150	7953	5202

単位：百万ブッシェル

## ◎米国の作付面積＝トウモロコシは前年比3%増も予想を大幅に下回る、大豆は10%増

大豆の作付面積は、前年比10%増の8382万5000エーカー。市場予想（8471万6000エーカー）を下回った。3月の作付意向面積（8351万エーカー）からは小幅増加。

一方、トウモロコシの作付面積は、前年比3%増の9200万6000エーカー。市場予想平均（9520万7000エーカー）を大きく下回ったほか、予想レンジ下限も下回った。

## ◎四半期在庫＝大豆は前年比22%減で予想を下回る、トウモロコシは前年比0.4%増

大豆の在庫は13億8598万9000ブッシェルで市場予想平均（13億9200万ブッシェル）を下回った。前年同日比では22%の減少。

一方、トウモロコシの在庫は52億2366万4000ブッシェルで市場予想平均（49億5100万ブッシェル）を上回った。前年同日比では0.4%の増加。

## ◎市場の反応 作付面積報告を受け大豆・トウモロコシとも大幅続伸

30日のシカゴ大豆相場は大幅続伸。米国の作付面積が事前予想を下回ったことやトウモロコシ相場高に支援された。四半期在庫報告もプラス材料。終値は、期近7月限が884.25セント（前日比17.75セント高）、新穀11月限が882.25セント（前日比20.75セント高）。

シカゴ・トウモロコシ相場も大幅続伸。米国の作付面積が事前予想を大きく下回ったことに支援された。終値は、期近7月限が338.50セント（前日比12.25セント高）、新穀12月限が350.50セント（前日比15.75セント高）。

第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口（東京・本社）0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。